

「歯の矯正治療中の鎮痛剤の使用」について

高田健治



1. はじめに

歯を移動している時に鎮痛剤を投与すると、どのようなことが歯根膜と歯槽骨で起こるのか？

このことを理解する前に、薬物の投与なく歯に矯正力が加えられた時の歯根膜（靱帯）と歯槽骨内部で生じている現象について先ず理解しておく必要がある。この現象には体内に存在するさまざまな物質（因子とかメディエータと呼ばれる）が分子レベル、細胞レベルで複雑に関与しており、それぞれが薬物の影響を受けると考えてよいので、現在でもすべての鎮痛剤の影響が分かっているわけではない。図1に矯正力を歯に伝えた時に歯根膜と歯槽骨で何が起り、抗炎症剤を投与するとどの反応過程が阻害されるのかを、プロスタグランディンを例にし

